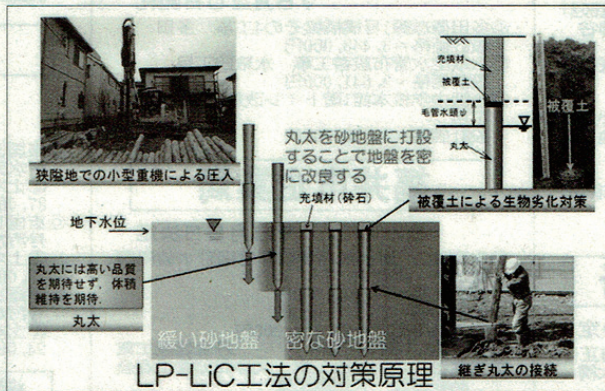


丸太打設で液状化対策に



飛鳥建設と兼松日産農林、昭マテリアルの3社が共同開発した「丸太打設液状化対策&カーボンストック(LP-LiC)工法」イメージ図がこのほど、国土技術研究センターと沿岸技術研究センター主催「第17回生物劣化を生じないこ

国土技術優秀賞を受賞 福井高専らが技術支援

飛鳥建設



地下水位よりも深く打設された丸太は、酸素が供給されないため腐朽せず、地中で半永久的に健全性を保てる。こうしたカーボンストック(炭素貯蔵)効果により、工事の実施自体で大気中の温室効果ガスを削減でき、地球温暖化の緩和策としても役立つ。さらに木材

とに着目し、世界で初めて丸太を使った液状化対策を実用化した。木杭に「支持力」を期待していた従来の発想から転換し、「体積維持」に限定したことで、高品質な丸太を必要とせず、間伐材などの適用範囲を拡大できるといった。また、

を大量に使用するので森の再生にも貢献し、水源涵養や土砂災害の低減も期待される。(写真は太田昭宏国土交通大臣「中央」から表彰された伊藤寛治飛鳥建設社長と沼田淳紀同社土木事業本部エンジニアリング部担当部長)